

各 位

SBSゼンツウ株式会社

第8回 基幹運輸部門ドライバーコンテストを開催 —コロナ禍以来4年ぶりに、全国のドライバーが集結し競い合いました—

SBSゼンツウ株式会社（社長：池田伸之、本社：東京都新宿区）は、6月3日、パルシステム杉戸セットセンター（埼玉県北葛飾郡杉戸町）構内において、第8回 基幹運輸部門ドライバーコンテストを開催しましたのでお知らせします。



当社は、食の安心・安全を追求する団体として消費者から根強く支持されている生協様の物流を担っています。基幹運輸部門は、産地様やメーカー様からセットセンターまでの調達物流、セットセンターから配送センターまでの基幹配送を担当し、輸配送網の大動脈として、中型・大型車両約 300 台が稼働する部門です。

4年ぶりの開催となった当コンテストは、「社会へ無事故をお返しする」ことを目的として開催され、全国の支店から選ばれた 20 名が競い合いました。優勝した相模原支店の松浦康夫（まつうら やすお）は「日頃の安全への思いと知識をぶつけるために出場しました。日々勉強していたので結果が出て嬉しく思っています。」とコメント。日々の成果が発揮された大会となりました。

			<p>■開催日時・場所 6月3日（土）9:00~13:30 パルシステム 杉戸セットセンター</p>
<p>パルシステム 商品管理本部 茂木副本部長のご挨拶</p>	<p>当社社長池田による 開会挨拶</p>	<p>沼津支店 大平選手による 宣誓</p>	<p>■参加者 当社及び協力会社 69 名 (うち選手 20 名)</p>
 <p>全員で記念撮影</p>			
 <p>競技の様子</p>			<p>■プログラム 1)学科競技 2)日常点検競技 3)走行競技</p>
			 <p>成績優秀者表彰（選手左から） 優勝：松浦 康夫（相模原支店） 2位：村山 正（大宮支店） 3位：佐藤 直樹（川口支店）</p>

ドライバーコンテストは、プロとして自身の運転技術を自覚し、安全を心がけながら日々の業務内容を再確認する場でもあります。当社は、今後も様々な機会を通じ運転技術や安全意識の向上のために啓発活動を継続することで、お客様と共に安全・安心を消費者の皆様へお届けしてまいります。

以 上

■ご参考

<SBSゼンツウ株式会社概要> (2022年12月末現在)

本社住所：東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー25階

代表者：代表取締役社長 池田伸之

設立：1982年(昭和57年)

親会社：SBSホールディングス株式会社(持株比率100%)

資本金：83百万円

従業員数：3,830名

事業所：関東を中心に静岡、長野、富山、和歌山、大阪、岡山、宮城、福岡、鹿児島などに約80拠点を設置

事業内容：一般貨物、予冷定温輸送及び共同配送、個人宅配事業、各種商品の受発注業務代行及び仕入れ販売、貨物の荷受、保管、仕分け、ピッキング、包装、加工作業。SBSゼンツウの特色は4温度帯(冷凍・冷蔵・青果・ドライ)を一括集約した物流を構築するノウハウを持っていることです。それぞれに細かな品質管理を施し、高品質を保ったまま入荷から配送までの全ての作業をお任せ頂きます。

URL：<https://www.sbs-zentsu.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

SBSホールディングス株式会社 IR・広報部

e-mail：contact11@sbs-group.co.jp

※ 当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございます。あらかじめご了承ください